



次の節目の創立一〇〇周年を無事に祝うことができるだろうか？ 九〇周年祝典の最中に心を過った思いである。実際わが国の人口動態、経済状況、自然災害、激動する世界情勢などを勘案すると、これからの十年何が起ころうとも不思議ではない。

真砂会の皆様には、二〇一七年をご機嫌よくおむかえの事とお喜び申し上げます。本校にとりまして、十年に一度の創立九〇周年行事も、盛大かつ厳粛に、無事おえました事を心より感謝申し上げます。

ふりかえってみますと、創立八〇周年からの十年間は、あつという間にすぎた気が致します。沢山の喜びや悲しみもございましたが、おかげさまで、生徒・教職員・保護者の努力で、文武両道を実践し、めざましい結果を出してきてくれたと自負しております。いつも、同窓会の皆様の応援が大きな力となっている事は、今更申し上げるまでもございませぬ。

新しい年を迎え会員の皆様方におかれましては、お元気にご活躍の事とお喜び申し上げます。



五十嵐 美江子
〈真砂会会長〉

ご挨拶

今後、少子化の波が本校にもおし寄せ、厳しい状況も生まれてくると思いますが、覚悟をもって時代の要望に即して臨機応変に対応し、カトガク・プライドを忘れず邁進していく所存でございます。会員の皆様方に、いま一度心からの感謝を申し上げますと共に本年が、皆様にとってよりよい年である事をお祈りしております。

ご挨拶



加藤 正秀
〈理事長〉

御挨拶



加藤 瑠美子
〈学校長〉

ま さ ご 会

加藤ふち先生 書

発行所
および事務局

沼津市大岡字自由ヶ丘1979
加藤学園高等学校内

真 砂 会

電話 921-0347 (代表)
携帯 090-4790-0054
mail: masagokai80@docomo.ne.jp

印刷所
株式会社 耕文社
電話 925-0016

げます。

日頃は、真砂会の活動に對しましてご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

母校は昨年十一月に創立九〇周年記念式典が挙行されました。

真砂会の会員も約四万人を数え、各分野で活躍されております。

式典で現在の学校の様子を拝見し、九十年の重みを感じると同時に、未来に向かって飛躍していく様に、真砂会も

●お知らせ●

平成29年度
真砂会・総会について

日時／平成29年5月20日(土)

午後3時より

場所／ザ・グランドティアラ
沼津(白銀町)

記念公演について

ワンダードラム パフォーマンズ



新たに気を引き締めて、微力ながら貢献していきたいと思ひます。

昨年、私達役員は、記念館の資料室整備のお手伝いをさせていただきました。創立からの歴史等垣間見る事が出来ます。暁野祭では、一般の皆様にも開放し見て頂きました。在校生の皆様、三年の間に一度は資料室に行き、歴史ある学校の成立ちを見て頂きたいと願っております。

平成29年度はパーカッション・パフォーマンズユニット「T・J・P・P・A・L」(ティー・ジェイ・パル)によるコンサートを開催いたします。

ティー・ジェイ・パルは従来の打楽器アンサンブルとは違いオリジナルティ、あふれるパフォーマンズでバラエティに富んだコンサートは全国各地でも好評を博しています。先日は、テレビ番組にも出演をして、多数の問い合わせや依頼もあるそうです。「驚異のボディパーカッション」と楽しい打楽器ワールド!!

ぜひこの機会に同窓生の皆様と楽しい時間を過ごしたいと思ひます。

その精神のもと、今までに四万余名の生徒を社会に輩出し、文武ともに優れた高等学校になりました。式典のあいだ、在校生の方々が後列席にいらっしゃるのに、物音ひと

難しく思います。

大正十五年の創立以来、ふち先生のご意志を引き継がれて理事長先生や学校長先生方が、急成長する社会を先取りし、新しい時代に適合した人材の育成を実践されています。

男女が共に学ぶようになってから久しくたちますが、現在に至るまで『至誠』を重んじ、教科の中に『徳育』をとり入れて下さっていることを有難く思います。

十一月十七日、霊峰富士がそびえる清しい朝、加藤学園創立九〇周年式典が沼津文化センターにて挙行され、真砂会からは、十五名ほど臨席させて頂きました。

「至誠」「温雅」「勤勉」と心の中に刻み、女性教育の向上に注いで下さっていたふち先生の深い愛情に包まれてすごした日々を思い起こしました。

つしない整然とした態度に感心いたしました。そして私の背中に、この式典を優しく見とどけて下さっているふち先生のお姿を感じました。

ふち先生の偉業を称えると同時に、献身的に真心を以て尽くしてこられた先生方や、学園の為に尽力添えをして下さった皆様方に深く御礼を申し上げます、学園がますます発展されますことを祈念いたします。

創立九〇周年記念式典に参加して

真砂会副会長

芹澤 百合子



熱海支部のあゆみ

瀧野 慶子

創立九〇周年誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

創立者加藤ふち先生の教育理念であります、校訓「至誠」“まごころを尽くす”は私の胸にいつも大切に、在学中だけでなく、今でも人生の教訓とさせて頂いております。

さて真砂会熱海支部は、昭和四十五年頃より発足し、初代支部長に故岩本博子様に務めて頂き「毎月一回集まり、楽しく会合をしました。」と懐かしそうに、二代目支部長になられた、西島緑様が話して下さいました。西島様は現在九十二才ですが、大変お元気で、熱海支部総会には友人を誘って、毎回楽しみに出席し、懐かしいお話を聞かせて下さいます。又、私が平成十一年度より支部長を受けることになり、支部総会には、学校から教頭先生（現在は副校長）のご出席を頂き、学校の現況報告を伺い、生徒の大活躍に拍手喝采です。本部からは、会長をはじめ役員の方々のご出席を頂き、真

砂会のお話を真剣に伺い、新しい情報を知り、暁野祭にも参加させて頂きました。平成十六年六月には、母校の新校舎見学と、故ふち先生の三十三回忌の墓参をさせて頂きました。皆様から「何十年ぶりの学校訪問、ふち先生の墓参が出来て、夢のようです。」と大変喜んで頂きました。本部のご協力を頂き毎年色々な企画で開催出来すことを感謝申し上げます。又、八十八才になられた方にはお祝いの花を贈り祝福させて頂きます。総会の終りは福引大会で盛り上がり閉会となります。尚今後の課題は、後輩の方々に参加して頂けるにはどうしたらよいか？です。又、二十三年度より若林みや子支部長を中心に和氣満々と活動しています。どうぞ今後益々、母校並びに真砂会の発展と飛躍を心よりお祈り申し上げます。

平成28年度 真砂会総会

◆総会・記念公演・懇親会

日時…平成二十八年五月十五日（日）

十時三十分より

会場…ザ・グランドティアラ沼津（白銀町）

平成二十八年五月十五日（日）に同窓会「真砂会」総会が開催されました。

昨年度と同様に昭和四十八年度、平成五年度、平成二十年度卒業生の三学年で企画運営されました。

学校の先生方・来賓の方々、卒業生など八十名余りの参加で総会と在校生による逍遙歌の披露。懇親会では、日本知恵の輪協会会長の山本徹氏によるオリジナル製品の披露などが行われました。

総会は、校歌斉唱で始まり、真砂会名誉会長の加藤瑠美子校長先生はじめ、真砂会会長の後、総会しおりの式次第に沿って審議し、承認されました。



この総会の場をクラス会などの開催にご利用いただき、多くの会員のご参加を願っております。



記念公演

知恵の輪で人を繋ぎ心を解す



し挑戦してみました。なかなかできなかったり、歓声が上がったり、時間オーバーする程盛り上がり、楽しく、心を解す一時を過ごす事ができました。

なお、昨年、NHK朝ドラ「とと姉ちゃん」で花山編集長が思索をする際、知恵の輪を手にしている場面が度々、放送されましたが、その知恵の輪は全て山本徹氏の作品でした。

日本知恵の輪協会会長の山本徹氏による記念公演が行われました。私達は、生活の中で知恵の輪を手にする事は、ほとんどありませんでしたが、一番やさしい「竹の輪」を参加者全員が手に

逍遙歌を踊ってくれた在校生の方々
1生 おお井 菜緒
2生 岡本 紗也加
3生 後藤 沙菜
4生 岡田 明日香
5生 今井 菜々子



加藤学園で学んだこと

平成25年度卒業
塩屋 喬介さん



私は現在、東京学芸大学の学部三年生として、教育学を学んでいます。大学生活は瞬く間に過ぎ、気づけば卒業後の進路が現実味を帯びて見えてくる。そんな日々ですが、高校時代の思い出はまるで昨日のこのように蘇るものです。

私は高校時代、多くの人の優しさに囲まれて過ごしました。在学中の皆さんはまだ、そう感じてはいないかもしれないけれど、大学の学部柄、塾講師のバイトを通し沢山の高校生を見てきた私は思うのです。こんな学校他にはないぞ、と。人が良く素直で目標を持って頑張る生徒、それを全力で応援する先生方。そんな環境の中で人は学ぶのです。人を見ること、知ること、そして好きになることを。

人は神から学びを受けるわけではありません。あくまで対等な人と人が学び合い、それが自分の考え方や価値観を変容させるのです。だから、人を好

私は今、ヒコみづのジュエリー・カレッジのシューズコース二年に在籍し靴作りを学んでいます。授業では靴を作ることはもちろん、足の骨の構造や靴のデザインについて学んだり、自分の足に合わせて木型を削ったりしています。靴好きが集まり勉強することはとても楽しく、お互いを高めあったり刺激し合いながら充実した学校生活を送っています。

私は加藤学園高校では、美術コースに所属していました。そこでは美術についての勉強（デッサンの描き方や色彩学など）はほとんど勉強せず、先生方は自分の個性を大切にしたいと自由に絵を描き、物を作ったりしていました。



平成26年度卒業
安井 紘子さん

私は四月から、志望していた婦人靴の会社で働くことが

きになる才能を持っている人は多くの人から多くのことを学べ、多くも学んだ人は大きな器を持つのです。

在学中の皆さんはこれを読んで、「学ぶ」って授業だけじゃないんだなって思ってくれたら嬉しい。でもね、人のことを誤解なく理解するのって難しい人を見ようとすると、自分の経験を通してしか見れないから。だから授業があるんです。国社数理英その他教科から、色んな角度からモノを見ることを勉強して欲しい。せっかく人を好きになる才能があっても、偏った見方しかできなかったら悲しいからね。

高校を出ると世界は更に広がります。多くの人と出会います。私は加藤学園で学んだ様に、沢山の人が好きになり、沢山のことを学びました。そして、これからも学びたい。教壇に立つ日のことを夢みて。

決まりました。企画デザインという職種で名前の通り婦人靴の企画を立て、デザインをする仕事です。私が内定をもらえたきっかけは、学校のイベントにありました。生徒が自分の作品を企業の方々にプレゼンするというイベントです。私は二年制だったため三年制の人に比べ作品のバリエーションは少なく技術の差もありました。その中で企業の方は私の作品を見て、作りの丁寧さ、コンセプトからデザインがよく考え込まれていると評価してくださり内定に繋がりました。私は一度も学校を休まず、積極的に先生や先輩に教えてもらいに行き、図書館にも毎日のように通いました。授業のない日にも靴を作りました。私が頑張ったのは靴がとにかく大好きだったということ、好きなことを学べるということに感謝し、いつも学ぶ姿勢を忘れずにいたからだと思います。入学した頃、私はデザイナーになりたいという夢を、自信を持って隠していました。しかし、努力すれば周りを見ていて応援してくれるし、必ず誰かが評価してくれます。皆さんも好きなことに夢を持ち、努力をし、それを続けてほしいと思います。

平成二十八年度

真砂会役員名簿

名譽顧問	加藤 正秀
名譽会長	加藤 瑠美子
顧問	(故) 酒井喜代子
会長	長澤とみ子
副会長	生田 亘
会計	佐藤 美雪
会計監査	小池ふみ子
事務局長	五十嵐美江子
事務局	芹澤百合子
文化祭係	加藤 孝子
新聞係	小針真奈美
熱海支部長	三浦 護子
真砂会担当先生	杉山 浩美
前田 恵美 先生	渡邊 佳織
相羽真由美 先生	土屋 和美
遠藤 真一 先生	二十五回生
森 聡太郎 先生	四十五回生
南良 知 先生	六十回生
鈴木 英武 先生	若林みや子

編集後記

時代が目まぐるしく変化していく中、「まさご」新聞は第五十号の発行を迎えることができました。これも一重に、お忙しい中原稿をお寄せ下さいました皆様のおかげです。感謝いたします。今回から一人でも多くの方々に読んで頂きたい思いでカラー版にいたしました。今後も「真砂会」に変わらぬご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

平成二十八年度

新聞係 一同

平成二十八年度卒 真砂会 幹事

SPⅢ1/永田 光正・渡辺 鈴佳
SPⅢ2/渡辺 鋼佑・森下 智尋
SPⅢ3/松本 悠真・椿 志野
PⅢ1/土屋 俊貴・三井 瑠
PⅢ2/茂呂 宏太・中澤 未来
PⅢ3/東郷 健真・西原 未華
PⅢ4/渡邊淳之介・村松 真帆
PⅢ5/東 哉太・石井 友恵
PⅢ6/長谷川大稀・高井 風花
GⅢ1/山田 俊哉・芹沢美乃里
GⅢ2/石川 紘大・杉山 風香
GⅢ3/的場 幸太・政岡 裕子
GⅢ4/水本 悠貴・磯崎 唯那
GⅢ5/阿部 航大・小田切香穂